

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略

令和5年度 検証・評価・見直しシート

令和6年3月

鮫川村

基本目標（数値目標）評価シート

①村民の幸福度を通じて目指す数値目標

数値目標	現状	目標	R5結果	結果についての考察
村に愛着を感じている人の割合（振興計画策定に係るアンケート調査結果より）	79.7% (R1年)	85.0% (R6年)	-	R6に住民アンケート予定の為未把握

(1) 暮らしやすく賑わいのあるむらづくり

数値目標	現状	目標	R5結果	結果についての考察
村に住み続けたいと思う人の割合	73.10%	80.00%	-	R6に住民アンケート予定の為未把握

(2) 稼ぐ力の創出

数値目標	現状	目標	R5結果	結果についての考察
公務を除く従業者数 (経済センサスー基礎調査)	756人 (令和1年)	756人 (令和6年)	-	経済センサス速報が来ないと不明
職に関する講習会の実施 (チェーンソー・草刈り機)	2回	5回	4回	目標達成に向けて取り組んだ

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	H36.3.14
主要施策	子育て・教育支援プロジェクト	教育課等	作成係	-

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和5年度)	結果数値についての考察
「子ども子育て協議会」の設置	設置	-	子ども子育て支援事業計画にのっとり進めて行く
村に愛着を感じている中学生の割合	64.7%	47.9%	

■取組内容

①	子育て支援事業の充実	担当課等	こどもセンター			
各種預かりサービスを通じて多様化する保育ニーズに応えます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	2 保育サービスの充実 事業	
章		節		項	事業	
取組の成果	保育アンケート満足度96.5%(前年度から+3.8%) やまゆり保育・乳児室対象者5名中4名参加。(参加率80%、前年比17.5%増加)、預かり保育、一時預かり保育申し込み計1件有、全て実施。東京都小竹向原にあるまちの保育園に保育研修を計2回実施。				評価	B
推進上の課題	職員の園児や保護者への対応にバラつきがあるとの意見があったため、職員の資質向上につながる研修の実施 施設、遊具等の安全対策の実施				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	まちの保育園で学んだ保育運営、事務、保育業務の取り組みを積極的に取り入れて行きたい。					

①	子育て支援事業の充実	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援拠点事業を充実させ、子育てに対する負担感や不安を軽減します。 ・放課後児童クラブを充実させ、保護者が働きやすい環境を整備します。 特に少子化や核家族化が進み、児童クラブに預ける家庭が増えているため、子育て支援の充実を図るためにも、指導者の確保に努める。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	1 子育て支援拠点事業の充実 事業	
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	3 放課後児童クラブの充実 事業 放課後児童クラブ事業	
取組の成果	待機児童無しで、利用されている。 令和5年度実績 定員30名 利用者27名 地域おこし協力隊の募集等による指導員の確保に取り組んだ。				評価	B
推進上の課題	指導員は3名であるが、子どもの多様化、指導員の高齢化などにより新たな指導員の確保が急務である。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	長期休暇中なども学習支援員の児童クラブへの配置など、継続して児童の安全性を確保し運営したい。					

②	支援が必要な子どもと家庭への対応	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係	
・医療費助成など保護者の経済的負担の軽減を図るとともに、児童虐待の早期発見、防止などに取り組み、支援が必要な子どもと家庭を支えます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	2 子育て支援	項	5 支援が必要な子どもと家庭への対応	
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> 子ども医療費やひとり親家庭医療費の助成を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図った。 要保護児童対策協議会での実務会議では、関係機関を参集し、支援が必要な家庭の情報を共有し、虐待の未然防止や早期発見、支援が必要な家庭への支援方法などの共通認識を図った。 子ども家庭総合支援拠点を設置する必要があるため、支援拠点の体制整備について課内での検討を実施し、設置に向けた情報共有を図った。 				評価	B
推進上の課題	子ども家庭総合支援拠点を設置し、子ども家庭支援全般に係る業務や要保護児童等への支援業務等を実施する。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	ファミリーサポートの実施も検討していく。					

③	村の特性を生かす特色ある教育（ふるさとキャリア教育）の推進	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
・ふるさと鮫川を愛し、誇りに思う心を育むとともに、自分の将来の夢に向かってたゆまぬ努力を続ける心を育みます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	4 人と文化が輝くふるさと鮫川	節	2 学校教育	項	5 村の特性を生かす特色ある教育（ふるさとキャリア教育）の推進	
章		節		項		
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育において、小学校1年生から中学校3年生までの9年間を系統的に学ぶ『さめがわ学』を実施した。 ふるさとへの誇りと愛着心を育むことができた。 小学校ではさめっ子フェスティバル、中学校では壇の岡祭で環境学習や生活学習等の取組を発表した。R5に学校運営協議会・地域学校協働連携本部を設置。学校を核とした地域づくりの体制づくりを行った。 				評価	B
推進上の課題	地域人材の高齢化が問題となるため後継者の育成が急務。学校（教育課程）との日程調整（実施時期、天候も含め）、コーディネーターの育成が課題。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	R6小学生、中学生の村への愛着度アンケート、さめがわ学への満足度アンケートを実施する。					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	稼ぐ力と雇用創出	施策主管課	作成日	H36.3.15
主要施策	産業振興と担い手育成・創業支援プロジェクト	農林商工課	作成係	農林畜産係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和5年度)	結果数値についての考察
認定農業者数	40人	27人	人数推移：R5.1.1現在 27人→R6.1.1現在 27人 令和6年度 未来へつなぐ多様な担い手応援事業を創出し、認定農業者等の担い手に機械の購入費用等を助成する
「人・農地プラン」作成地区数	5地区	9地区	村内全ての集落を対象に作成済み。令和3年度に村内全域を対象に9地区作成した。

■ 取組内容

①	農業の振興と高付加価値化及び6次化商品の開発、販売	担当課	農林商工課	記入係	農政係
<p>①水田の活用推進及び耕作放棄地の防止のため大豆やエゴマ等の土地利用型作物の生産を振興するとともに、自然に配慮した農産物の栽培等による高付加価値化の農業振興を図ります。</p> <p>②大豆やエゴマの加工品開発と販売促進、担い手となる加工技術者の育成、加工施設等の整備を推進します。</p> <p>③地域一体となった農地の保全活動を推進するため、「人・農地プラン」を作成し、農地の集積や中核的担い手農家の育成を図ります。</p> <p>④後継者や担い手不足の解消を図るため、農業生産を行う法人や集落営農組織の推進を図ります。</p>					

第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。

章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	3 「まめで達者な村づくり事業」	事業	大豆生産奨励事業
章		節		項		事業	

取組の成果	<p>①ゆうきくん堆肥が施用され大豆、エゴマが栽培されるなど、循環型農業の推進と自然に配慮した農産物の栽培に取り組んだ。</p> <p>②手まめ館に急速冷凍機「凍眠」の導入、特産品開発、地域農産物の加工に取り組んだ。</p> <p>③若手担い手の育成として、さめがわプライド（農業者団体）を設立した。若手担い手の視察研修を実施した。</p> <p>④1集落で集落営農が取り組まれており、栽培支援を実施した。</p>	評価	B
推進上の課題	<p>①手まめ館の販売力、発信力が低下し、来店者数が減少している。</p> <p>②新たな特産品の開発、販路拡大が課題。</p> <p>③若手の中核的担い手農家が不足している。</p> <p>④湿害、作業効率の低下等の影響があり、農地の条件を整備する必要がある。</p> <p>⑤手まめ館（直売所）と農家をつなぐコーディネーターが必要である。</p>	方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	<p>①手まめ館の組織の見直しと強化。将来的に法人化を視野に入れる。R6から学校給食部会を再編成し、学校給食に安定的な食材の供給を図る。</p> <p>②機能性成分を重視し、購買者のニーズに合わせた新たな加工品開発。（健康志向と売れる商品作り）</p> <p>③認定農業者や認定新規就農者の支援内容の拡充（未来をつなぐ多様な担い手応援事業の創設）</p> <p>④若手農業者団体さめがわプライドや集落営農参加者の拡充（人数の増加）</p>		

②	物販販売促進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・イベント等を通じて、村産農産物の安全・安心を消費者に対して直接理解していただくとともに、農産物や特産品の販売促進を図ります。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	
章		節		項		
事業	ふる里振興協議会の運営支援					
取組の成果	東京都北区で開催される催し（王子銀座商店街「秋の味覚祭り」、北区区民祭り、食育フェア）、ホテル権会を会場としたマルシェに出店し、大豆・えごま加工品等の販売促進に寄与した。また、さめがわプライドによる販売も行い、消費者へ直接、本村の農畜産物の安全・安心について訴求した。				評価	B
推進上の課題	えごま商品全般の売れ行きが悪く、商品開発等が必要。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	手まめ館職員の人手不足、生産者の高齢化により、物販への参加が難しい。このため、さめがわプライドを主体とした参加へ切り替えを検討していきたい。					

③	特産品販売振興	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・エゴマを加工品販売促進と原料確保のため、農家からエゴマを買い取る費用の一部について助成します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
章		節		項		
事業	特産品販売促進事業					
取組の成果	エゴマ生産者の拡大を図るために、生産者へ買取量に応じ奨励金を継続して助成した。さらに、生産者を維持していくために買取単価を400円から500円に引き上げを行った。				評価	B
推進上の課題	地域ブランド農産物の維持と生産量の確保				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	エゴマ商品についての販売戦略など商工会と協議し、検討して行く。また、生産者の確保についても検討する。					

④	環境と共生する企業等の誘致促進及び里山オフィス整備と起業支援	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・村内における経済の活性化に向け、本村の優れた農村環境・里山景観と共生する企業や、研究機関等の立地促進に向けた取り組みを進めます。</p> <p>・テレワーク等、新たな働き方に対応し、気軽に働くことができる場所（起業できる場所）を提供することにより、移住者・起業者の増加または企業進出を促進します。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	2 里山オフィスの整備、起業支援	
章		節		項	事業 里山オフィス整備	
取組の成果	取り組みはしていないが、来年度に向け起業支援の取り組みを検討				評価	D
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・移住定住施策との連携 ・立地条件で劣る鮫川村を選んでもらえる仕組み、利点が重要になる 				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	<ul style="list-style-type: none"> ・起業、創業者に対する支援体制の構築 					

⑤	ハローワーク求人情報提供	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・ハローワーク白河から送付される雇用情報をホームページで公開、窓口に情報誌を設置し、情報提供を行います。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	1 求人情報の提供と事業所への働きかけの推進	
章		節		項	事業 ハローワーク求人情報提供等	
取組の成果	窓口に情報誌を設置した。				評価	C
推進上の課題	村内事業所の求人に対し、いかに応募数を増やしていけるか。				方向性	縮小
新たな取組や見直しの方向等	求人情報はインターネットで検索できる時代であり、仮に求人情報の内容について問合せがあってもハローワークへ問合せいただくしか方法がないため、紙媒体での情報提供を廃止する方向としたい。今後は、ふくしま生活・就職応援センター等と連携した取り組みを模索していく。					

⑥	商工業経営の安定化の促進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・商工業経営の安定化、経営基盤の強化に向け、各種融資制度の周知と活用促進に努めます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	2 商工業経営の安定化の推進	
章		節		項		
事業	商工業経営合理化支援事業					
事業						
取組の成果	融資を受けた商工業者の実績はなかった				評価	C
推進上の課題	制度周知、情報発信				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	引続き商工会と連携しながら、制度周知の情報発信を行う					

⑦	情報交流の場づくり	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・新商品の開発や新たな事業立ち上げなどへの意見交換、地域振興のための情報交換会、勉強会、アイデアなど自由に言える環境を整えます。また、それらに対応できるコーディネーター等を配置し、稼ぐ人・稼ぐ力を地域で組織的に育成する基盤を整備します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章		節		項		
章		節		項		
事業						
事業						
取組の成果	関係人口創出コーディネーターによる手まめカフェを活用した「よるず案内休憩所」が3月からスタートし、これにより村内外交流の環境（場所）が整備された。				評価	B
推進上の課題	地域で組織的に育成する基盤の整備				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	開発品等の実証、村内に既にある組織との連携の模索					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	H35. 1. 12
主要施策	移住・定住支援 空き家の活用プロジェクト	村づくり推進室	作成係	村づくり推進室

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和5年度)	結果数値についての考察
移住コーディネーター設置	設置	設置	関係人口創出コーディネーターを設置した
移住コーディネーターによる移住相談件数	20件	3件	県南4町村合同移住セミナーでの実績（来場者3名）
空き家紹介件数	5件	3件	空き家バンクへの登録要件を見直したことで継続しての掲載ができなくなった物件が2軒あった。

■ 取組内容

①	移住情報発信・移住者支援	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係	
<p>・村への UI ターンを働きかけるホームページを作成したり、都内の UI ターンイベントに出展するなどし、村での暮らしを包括的に紹介します。</p> <p>・地域おこし協力隊の活用を念頭に移住コーディネーターを設置し、移住希望者や移住者の総合的支援を行います。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
事業	移住コーディネーターの設置事業					
章		節		項	事業	
取組の成果	<p>・関係人口創出が移住定住に繋がることから、10月より関係人口創出コーディネーターを設置した。</p> <p>・移住希望者向けのホームページにおけるアクセス数は前年同期間（4月～2月）と比較して4.5%増加した。</p> <p>・東京で開催された移住セミナーへ出展し、個別ブースへの来客は「ふるさと回帰フェア：2組」「福島暮らし&しごとフェア：3組」「県南4町村合同移住セミナー：2組」だった。若者未来創出会議のイベントでさめがわファンクラブミーティングを実施。村の人と村外の人と一緒に活動する機会を提供できた。</p>				評価	B
推進上の課題	<p>・長期的視点に立った移住者の確保。</p> <p>・移住希望者と村民の交流機会の創出。</p>				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	<p>・関係人口創出コーディネーターが主催するイベントの開催などを通じて村とそこに住む人を知ってもらい、移住への糸口をつくる。</p>					

②	短期移住体験プログラム	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係	
<p>・夏季休暇などを利用し村に滞在し、地域の暮らしを体験するプログラムを農家民宿等と連携して検討します。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
事業	移住コーディネーターの設置事業					
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
事業	移住支援策の強化					
取組の成果	<p>昨年度までは、地域おこし協力隊を募集し、コーディネーターにする予定だった。協力隊自身が移住者であるため、着任当初は協力隊の支援をする人員が必要であり断念した経緯があるが、令和5年度に関係人口創出コーディネーターを配置できた。</p>				評価	B
推進上の課題	<p>・農家民宿との連携</p> <p>・山王の里が利用できない状況なので、2週間程度の滞在を受け入れる交流施設の確保が課題</p>				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	<p>・関係人口創出コーディネーターが主催するイベントの開催などを通じて村とそこに住む人を知ってもらい、移住への糸口をつくる。</p>					

③	空き家の貸し出し事業	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係	
<ul style="list-style-type: none"> ・村外からの移住希望者へ、空き家の貸し出しを行います。 ・貸し出しのための体制づくりとして、商工会や工務店などによる村内の全体的な管理組織「空き家管理ネットワーク」立ち上げを検討していきます。 						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
章		節		項		
事業					事業	
事業					事業	
取組の成果	すぐに住める空き家が登録されていないため、村営住宅の空きを活用した短期滞在型のお試し移住に向けて調整を行った。				評価	C
推進上の課題	移住希望者やお試し移住希望者が利用できる空き家（状態が良い）の確保				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	村内事業者を中心に空き家管理ネットワークを立ち上げていきたい。					

④	子育て世代住宅建設の支援	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係	
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代に対する、住宅建設やリフォームに対する支援を検討します。 						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	5 生活基盤が整ったふるさと鮫川	節	2 住宅施策、定住・移住	項	3 定住・移住の促進に向けた取組みの推進	
章		節		項		
事業					事業	
事業					事業	
取組の成果	R3.4より移住定住促進補助金を創設（45歳以下限定） <ul style="list-style-type: none"> ・戸建て中古住宅取得補助事業 R4：1件 R5：0件 ・移住者居住支援補助事業 R4：1件 R5：0件 ・若年層定住促進補助事業 R4：2件 R5：2件 				評価	B
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代が必要とする住宅支援策の把握 ・村内の子育て世代に対する村の住宅施策への満足度向上 ・子育て世代の移住者へのアプローチ 				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	本補助金の活用実績は、鮫川村出身者がほとんどであり、移住者が活用した実績は1件のみとなっている。 <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口創出事業との連携 ・本事業を活用した子育て世代への聞き取り調査 					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	稼ぐ力と雇用創出	施策主管課	作成日	H36.3.15
主要施策	環境維持に向けた組織化と雇用創出プロジェクト	農林商工課	作成係	農政係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和5年度)	結果数値についての考察
薪買取量	320 t	32 t	一般買取数量は低調となっている。(前年度56 t) ※実績→R4年度
薪販売量	300 t	257 t	さざり荘への販売が主となっている。(前年度292 t) ※実績→R4年度

■取組内容

①	仮称「鮫川村環境公社」設立	担当課	農林商工課	記入係	農政係
---	---------------	-----	-------	-----	-----

- ・中山間農業の支援と農村環境の維持管理するため、組織的に支える仕組みとして仮称『鮫川村環境公社』の設立を目指します。
- ・担い手が高齢化した世帯の農地の管理を通じ、村内の環境維持に努めます。

第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。

章	3 活力と交流に 満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	3 施設管理組織等の育成	事業	振興公社、環境公社の立ち上げの検討
章		節		項		事業	

取組の成果	公社設立に向けて各種資料等を収集分析し協議した結果、現時点において公社設立によるメリットが見いだせないため、他の手法による農村環境の維持管理に取り組む。	評価	D
推進上の課題	・収益採算性の確保に向けた事業展開が大きな課題となっている。 ・主に公社を運営する人材の確保が課題となっている。	方向性	縮小
新たな取組や見直しの方向等	人材確保のための組織づくりなど、公社が取り組む事業の検討が必要。また、村内業者や他事業との連携（小中一貫校、中心地活性化、手まめ館運営など）を図る必要があるため、全庁的な議論が必要。		

②	生活支援ニーズに対応した雇用の創出	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係		
<ul style="list-style-type: none"> ・草刈作業のほか、雪かきなどを担い、暮らしの中の人手不足の需要も東ねて新たなサービスを創出します。 ・農業半分・他の仕事を半分というように、現代版百姓を志望する人たちへ、仕事紹介などを通じて支援します。 							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	4 雇用対策	項	3 施設管理組織等の育成	事業	振興公社、環境公社の立ち上げの検討
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	1 農業生産基盤の充実	事業	中山間地域等直接支払交付金事業・多面的機能支払交付金事業
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・美活動刈上げ鮫（ジョーズ）事業により草刈り応援隊を養成全4回の刈払い機講習会を開催し、うち1回は村内外の人との交流イベントも開催した。 ・特定地域づくり事業協働組合の設立支援 ・県中小企業団体中央会を招いての打合せ、相談会を3回実施した。 ・組合立ち上げに向けた打合せを5回実施した。 					評価	A
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・受託事業者との連携 ・美活動刈上げ鮫（ジョーズ）事業の認知度向上 ・田舎の労働を楽しみに変える価値転換の醸成 					方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	<ul style="list-style-type: none"> ・関係人口創出アプリとの連動による事業の更なる波及 ・モデル地域・モデル事例を作る 						

③	森林資源の利活用	担当課	農林商工課	記入係	林業畜産係		
<ul style="list-style-type: none"> ・埋没している森林資源及び未利用地域資源の活用の向けた可能性を探るため、森林環境譲与税等の資金を活用した、ワークショップの開催を進めます。 ・未利用の森林資源を活用するため、間伐材や未利用木材を住民から買い上げ、「さざり荘」等の薪としての活用を推進します。 ・東白川4町村広域連携による地域森林資源活用を推進します。 							
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。							
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	6 計画的な森林の整備・再生	事業	森林環境保全と森林を守り育てる意識の啓発とその活動
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	1 農林畜産業	項	7 林業従事者の育成・森林管理体制の整備	事業	林業従事者の育成支援ほか
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源(未利用材)の住民から買い上げを行い、薪としての活用を図っている。 					評価	B
推進上の課題	森林環境譲与税の今後の活用方法					方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	林業関係団体と連携した林業従事者の育成を図り、計画的な森林の整備に向けて、森林所有者へ今後の管理方針についての意向調査を進める。						

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	H36.3.18
主要施策	観光資源の活用と交流・関係人口増加プロジェクト	農林商工課	作成係	商工観光係

■KPI

重要業績評価指標 (KPI)	目標値	結果数値 (令和5年度)	結果数値についての考察
さめがわファンクラブ会員数	1,000人	900人	3月現在 発足当初の会員数の伸びはなくなったが、蛭田みな美プロきっかけで入会してくれる方が目立った。次年度以降はアプリを活用し形を変えながら実施していく。(前年値800人)
鹿角平観光牧場利用者数	20,000人	10,067人	10月末現在 (前年値9,290人) キャンプ場、バーベキュー利用者が増えてきている。
村内宿泊施設利用者数	2,000人		(前年値634人)

■取組内容

①	観光・交流資源の整備充実及び有効活用	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・国道289号のバイパス化により、これまでの交通体系から変化がもたらされるため、鹿角平観光牧場を拠点とした観光政策の推進のための事業計画の策定及び整備、天文台や星空等の事業と連動させた事業を展開します。</p> <p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 観光・交流資源の整備充実及び有効活用	
事業	鹿角平観光牧場総合整備計画の策定及び実施					
取組の成果	排水路の転落防止のための柵を設置した。また、渡瀬バイパスの開通に伴い鹿角平観光牧場案内板を設置				評価	A
推進上の課題	ハード整備の費用は高額になることが予想されるが、村の中心拠点として整備は必須であることから、交付金を活用しながら段階的な整備が必要とされる。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	水不足対策として貯水タンクの増設を行う					

②	観光・交流機能の強化	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・交流施設「ほっとはうす・さめがわ」や農村体験交流施設「山王の里」を活用し、都市住民との交流イベントを開催して、交流人口のさらなる増加を目指します。</p> <p>・農家民宿の新規開設者に対する手続きや費用支援のほか、協議会への参加誘導により、交流人口の増加を図ります。</p> <p>・民間を活用した温泉旅館の運営により、新たな人の流れを生み出します。</p> <p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	
事業	農村体験交流施設「山王の里」運営事業の検討					
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての特性を生かした観光・交流機能の強化	
事業	グリーンツーリズム事業の推進/農家民宿運営協議会の支援					
取組の成果	ほっとはうす・さめがわは閉館し、再開には多額の修繕費がかかる見通し。山王の里は幾度か管理者を募集しているが、再開の目は立っていない。温泉旅館はオープンから3年目を迎え、利用者が増えつつある。				評価	B
推進上の課題	閉館・休館施設の今後の利活用。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	農業体験交流施設「山王の里」の施設としての方向性を検討が必要な時期である。					

③	広域観光・交流体制の充実	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・東京鮫川会等各種団体と相互協力のもと、交流事業を展開します。</p> <p>・東白川自転車活用推進計画に基づき、東白川郡4町村が協力し、観光と一体となったサイクルスポーツの推進を図ります。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に 満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	3 広域観光・交流 体制の充実	
章		節		項	事業 広域連携観光推進事業	
取組の成果	<p>・4町村によるサイクルイベントの開催。(JR水郡線を活用したサイクルトレインを実施)</p> <p>・ふくしま県南観光推進協議会で那須町、TOKIO-BAで観光PR活動を実施。特産品の販売や観光パンフレットの配布を行った。</p>				評価	A
推進上の課題	村内でのレンタサイクル管理体制の構築				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	<p>・レンタサイクル事業については、東白川サイクリング推進会議内で4町村連携した取り組みを目指している。</p>					

④	農村体験交流の推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・交流人口の拡大と移住対策として、農村生活体験を中心に、村の魅力を堪能してもらい、移住検討のきっかけづくり事業を行います。</p> <p>・大学生等を対象に、農村生活体験活動を行い、地域の魅力掘り起こしや移住定住に向けた事業の展開をします。</p>						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に 満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	2 農業の村としての 特性を生かした 観光・交流機能の強化	
章		節		項	事業 グリーン・ツーリズム事業の推進/農 家民宿運営協議会の支援	
取組の成果	関係人口創出コーディネーターによる「よろず案内休憩所」のオープン				評価	C
推進上の課題	<p>村のグリーンツーリズム協議会(村農村体験交流協議会)は震災以降、活動していない。ほっとはうす・山王の里の再開目途が立たない中で、農村生活体験の受け皿として民間との連携が必要。</p>				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	<p>さめがわファンクラブなどをターゲットとした農村体験交流により、移住のきっかけとなる機会の創出。</p>					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	H36. 3. 12
主要施策	村民の生涯現役プロジェクト	住民福祉課等	作成係	-

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和5年度)	結果数値についての考察
公民館利用者数	7,000人	7,123人 ※4月～2月	新型コロナが5類に移行したことにより利用者の増加傾向にある。(前年値5,301人) ※4月～2月
図書館利用者数	4,000人	3,372人 ※4月～2月	新型コロナウイルスの影響や児童・生徒数の減少により目標値を下回っている。(前年値3,502人) ※4月～2月
健康増進のための取り組みをしている人	65.00%	-	参加人数は横ばいであるが、新型コロナウイルス感染予防対策のため活動自体が控えられている

■取組内容

①	地域福祉を推進する、多様な担い手づくり	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係	
社会福祉協議会や民生児童委員協議会等と連携しながら、各種福祉団体、福祉ボランティア団体、NPO等の育成・支援を行い、地域福祉を推進する多様な担い手づくりを進めます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	5 地域福祉	項	2 地域福祉の担い手の育成・確保	
章		節		項	事業	
取組の成果	社会福祉協議会を通して、現在活動している福祉団体の支援や新たな団体の設立支援等を行っている。				評価	B
推進上の課題	地域福祉を推進する担い手の高齢化が進んでいる。現存している団体の新たな担い手の確保が必要であるが、人口減少や労働者の高齢化などにより世代継承が進んでいない(現会員：日赤会員51人、老人クラブ会員351人)。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	現存する福祉団体の運営継続に向けて引き続き支援を行い新たな会員確保に努める(目標：日赤会員5人、老人クラブ会員10人)。					

②	地域交流の推進と自助・共助の芽生えを支援	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係	
・地域の高齢者が楽しく集える居場所として、地域ふれあいサロンの充実を促進します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	2 健やかで安心なふるさと鮫川	節	5 地域福祉	項	3 地域全体で支え合う活動の促進	
章		節		項	事業	
取組の成果	筋力づくり教室や地域ふれあいサロン等介護予防事業に携わる地域福祉人材を9人育成し、高齢者の居場所づくりを後押ししている。				評価	A
推進上の課題	人口高齢化の進行にあわせ増加が見込まれる独居高齢者や高齢者のみ世帯の方々が社会参加しやすい環境の整備やその運営主体となる地域福祉人材継続的な支援が課題である。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	筋力づくり教室や地域ふれあいサロンの継続、新規参加の啓発を行い、高齢者の居場所づくりの充実を促進させるとともに、その運営主体となる地域福祉人材の育成や支援を継続的に実施する。					

③	生涯学習推進体制の充実	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
<p>・子どもから高齢者までが、興味と関心をもって積極的に参加できる学習や体験の機会を提供するとともに、学習施設の整備に努めるなど、生涯学習体制の充実を図ります。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	4 人と文化が輝く ふるさと鮫川	節	1 生涯学習	項	1 生涯学習推進体制の充実	
章		節		項	事業	
取組の成果	生涯学習計画と年間計画を作成し、歴史、文化、社会教育、社会体育を推進した。文化祭、主張大会、成人式、スポーツ大会等の行事について、新型コロナウイルスの5類移行に伴い、通常通り実施した。				評価	B
推進上の課題	公民館、歴史民俗資料館の利用方法を工夫する。村民に足を運んでもらえる企画の検討。高齢化、生活様式の多様化により年々参加者が減少傾向にある。コロナ禍の影響により人と関わらない生活に慣れてしまっている。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	歴史民俗資料館の展示内容の定期的な変更を行う。次年度は生涯学習アンケートを実施し、村民の要望、満足度を調査する。					

④	ニーズに応じた特色ある講座・教室の運営	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
<p>・子育てや家庭生活、体験活動などニーズに応じた特色ある講座・教室の運営を行います。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	4 人と文化が輝く ふるさと鮫川	節	1 生涯学習	項	2 ニーズに応じた特色ある講座・教室の運営	
章		節		項	事業	
取組の成果	チラシを工夫し公民館事業の見える化を継続した。特色ある講座として、苔テラリウム、陶芸教室、雪山トレッキング、味噌づくり教室、竹灯籠教室などを実施した。事業のマンネリ化の解消につながり、新たな参加者が増加した。また、定期的に教育ポータルサイトへ掲載することで周知が図られた。				評価	B
推進上の課題	小中高生対象の事業を充実させることが課題。親子で学べる講座が少ない（親と子が同じ時間、同じ場所で学べる講座を検討）。現役世代の参加者をいかに募るか検討が必要。また、各種講座の参加者の自立を促し、さらに新しい講座を企画していきたい。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	チャレンジスクールに中高生のボランティアスタッフを募集する。公民館事業の充実を図る。子育て世代が参加でき、学べる環境づくり。教育ポータルサイト、SNSを活用し公民館事業を発信する。また、世代別講座など新しい講座を企画する。					

⑤	大学等連携事業	担当課	教育課	記入係	生涯学習係	
・施策の目的別に連携する大学を選定していき、課題解決に見合った取り組みを行っていきます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章		節		項	事業	
章		節		項	事業	
取組の成果	学校側のニーズとマッチせず事業実施に至らなかった				評価	C
推進上の課題	村の魅力、可能性を小中学校と大学生で考える機会を作る。大学と学校との調整役、コーディネーターが必要				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	オンラインの活用や、鮫川村出身の大学生と小中学生の交流を図る。長期休業中の学習支援協力なども検討する。					

⑤	大学等連携事業	担当課	住民福祉課	記入係	福祉係	
・施策の目的別に連携する大学を選定していき、課題解決に見合った取り組みを行っていきます。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章		節		項	事業	
章		節		項	事業	
取組の成果	医療創生大学国際看護学部（千葉県）の学生と村内6件の独居高齢者が年間を通し定期的に社会交流することができた。				評価	B
推進上の課題	今回の大学側の研究は今年度で一段落となり、今後の継続した交流が可能かどうか不明。				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	今後の活動方針について村地域包括支援センター含め検討。					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	賑わいのある村づくりと人づくり	施策主管課	作成日	H36. 3. 18
主要施策	鯨山公園を核とした中心地活性化プロジェクト	農林商工課等	作成係	商工観光係

■ K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和5年度)	結果数値についての考察
手まめ館利用者数	90,000人	64,924人	食堂が休業していたため、前年数値と比較し減少した。 (前年値66,000人) ※レジ通過数
マルシェ等のイベントの開催	3回	5回	春市、夏市、ハロウィーン、感謝祭、節分フェアを開催 (前年値2回)

■ 取組内容

①	賑わいの核となる公園整備	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係	
<p>・村の中心部に集客の象徴として、子どもをはじめ老若男女が集える音楽イベントやマルシェも可能な広場がある多目的公園機能を整備します。</p> <p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	1 きれいで安全なふるさと鯨川	節	4 公園・緑地、緑化	項	1 公園・緑地の管理体制の充実	
章		節		項		
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・鯨川村幼保小中学校検討委員会での義務教育学校（複合施設）に関する検討。 ・修明高校鯨川校の跡地利用に関する県を交えた協議 				評価	C
推進上の課題	日常的な賑わいを創出するために最適な公園の配置と横断的な検討及び財源の確保				方向性	拡大
新たな取組や見直しの方向等	令和6年度住民ワークショップを開催する中で、参加者からの意見を伺う。防災機能を持った公園など、日常だけでなく、有事の際にも機能を発揮できる公園のあり方を検討したい。					

①	賑わいの核となる公園整備	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・村の中心部に集客の象徴として、子どもをはじめ老若男女が集える音楽イベントやマルシェも可能な広場がある多目的公園機能を整備します。</p> <p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	1 きれいで安全なふるさと鯨川	節	4 公園・緑地、緑化	項	2 公園・緑地の整備事業	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鯨川	節	2 観光・交流	項	4 情報発信の強化	
取組の成果	若者未来創出会議メンバーが主体となり、子どもから大人まで楽しめるロゲイニングイベントを開催した（実施：村づくり推進室）。				評価	B
推進上の課題	整備計画の策定及び各種イベントなどが開催できる広場の整備に向けた検討。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	景観形成活動を行い、村に賑わいと関わりを持つ人を増やしていく 景観形成活動に参加する人数を20%増やすため、SNSを活用して情報発信する。					

②	中心地域の賑わいづくり	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
公園周辺へ店舗等の誘致・周囲には起業による新たな店舗の誘致やチャレンジショップの開設などを通じて、回遊性を高め、賑わいづくりの相乗効果を図ります。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	3 広域観光・交流体制の充実	
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
取組の成果	取組みなし				評価	D
推進上の課題	起業希望者数の把握空き店舗の活用希望者数の把握（店舗の出手と使い手）				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	空き店舗などを展示場所（児童絵画など）に利用し、回遊性を高める。					

③	温泉施設、公園など文教施設などの周辺環境整備	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係	
・公園を中心とした面的整備に取り組みます。また、その延長として周辺の環境整備にも取り組み、地域資源の有効活用を目指します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 求人情報の提供と事業所への働きかけの推進	
章		節		項	事業	
取組の成果	令和5年度に住民ワークショップやアンケートを実施した。				評価	C
推進上の課題	今後、総合的な整備方針など、ハード面ばかりでなく、共助を含めて検討。				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	令和6年度の住民ワークショップで意見があがれば、住民を交えた周辺整備が可能ではないか。住民が望む形を実現していきたい。					

③	温泉施設、公園など文教施設などの周辺環境整備	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・公園を中心とした面的整備に取り組みます。また、その延長として周辺の環境整備にも取り組み、地域資源の有効活用を目指します。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 求人情報の提供と事業所への働きかけの推進	
取組の成果	公園内の維持管理業務を鮫川村シルバー人材を活用し、環境整備を行った。				評価	B
推進上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・維持管理団体の高齢化と会員減少 ・有償ボランティアの活用も含めた管理体制の構築 				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	草刈り応援隊の活用及び有償ボランティアの募集					

④	賑わいを促進するためのイベント開催	担当課	村づくり推進室	記入係	村づくり推進係	
<p>・特産品を販売したり、季節性のあるイベントを定期的に開催し、村内外から人を集め、常に賑わいのあるエリアとしていきます。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	2 観光・交流	項	1 観光・交流資源の整備充実及び有効活用	
章		節		項	事業 若者向けのイベントの創出	
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> ・若者未来創出会議が主催した館山公園を活用したロゲイニングイベントを開催し12名（大人10名子ども2名）が参加した。さめがわファンミーティングと同時開催し、村の魅力を再発見するきっかけとなった。 ・福島市のコラッセでさめがわの日常写真展を開催し、約350名の来場があった。 				評価	B
推進上の課題	イベント企画及び開催する地域団体の育成				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	人材育成事業では、中心地域にスポットをあてた活動を行っていきたい。その中で、情報発信力の強化と地域リーダーの育成や団体の設立を図る。					

総合戦略（第2期）評価シート

基本目標	稼ぐ力と雇用創出	施策主管課	作成日	H36.3.18
主要施策	村にお金を落とす仕組みづくり「お互いさま運動」推進プロジェクト	農林商工課	作成係	商工観光係

■K P I

重要業績評価指標 (K P I)	目標値	結果数値 (令和5年度)	結果数値についての考察
すまいる 年間販売額	4,500万円	万円	実績報告がまだ提出されていないため、未入力
すまいる 宅配利用者	150人	戸	実績報告がまだ提出されていないため、未入力
マルシェ等のイベントの回数	3回	回	

■取組内容

①	買い物弱者支援施設運営支援	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
<p>・「村民の店 すまいる」の運営費用の一部について、運営主体の村商工会に助成します。</p>						
<p>第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。</p>						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取り組みの検討・推進	
章		節		項	事業 商工会が実施する商店等の維持活動に対する助成	
取組の成果	運営費用の一部を助成				評価	B
推進上の課題	従業員の確保とそれに係る人件費の確保。運営主体の自立した経営				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	継続して運営費用の一部を助成し、自立した経営を協議していく					

②	商店街の維持・存続に向けた取組みの検討・推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・村内の事業所や地域の発展のために活動する商工会の活動を支援します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	1 商工会の活動支援	
				事業	商工会における課題解決のための費用助成	
取組の成果	商工会の指導職員、事務局長の人件費の支援と商工会青年部・女性部の団体活動の支援を行ったことで商工会の運営と村内事業所の振興が図れた。				評価	B
推進上の課題	第三者承継など持続可能な経営方法の提案				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	継続して指導職員設置費、事務局長設置費、商工団体活動の一部を支援					
③	地域経済循環の推進	担当課	農林商工課	記入係	商工観光係	
・チャレンジショップやフリーマーケットとマルシェの合同イベント、軽トラ市の定期開催などを実施し、村に埋もれている起業者を発掘し、さまざまな物が村内でも買えるシステムを構築します。						
第4次振興計画 後期計画との関連 ※本取組と関係のある振興計画上の事業を記入願います。						
章	3 活力と交流に満ちたふるさと鮫川	節	3 商工業	項	3 商店街の維持・存続に向けた取組みの検討・推進	
				事業	商工会が実施する商店等の維持活動に対する助成	
章		節		項		
				事業		
取組の成果	まめな暮らし応援商品券の発行（2回）				評価	D
推進上の課題	事業推進役と起業者の発掘				方向性	維持
新たな取組や見直しの方向等	地域ポイントなどの導入を検討していく。					

自己評価	備考
A	非常に大きな効果が見られた。
B	一定の効果が見られた。
C	あまり効果が見られなかった。
D	全く効果が見られなかった。

方向性	備考
拡大	今後は拡大させる方向である。
維持	今後も維持していく方向である。
縮小	今後は縮小していく方向である。
廃止	今後は廃止方向である。 ※他の事業に統合させたり、新規事業として組み直す場合はその旨を備考欄に記してください。